2025年度 多文化共生セミナ・



参加費

オンライン開催

オムナ:5一人 多様性豊かな社会とは?



異なる言語や文化を持った外国籍住民もともに担い手となるような多文化共生の地域社会の姿は どのようなものか、そこで求められる受入側となる日本人はどのような事柄を知っておく必要が あるのか ―、このような問題意識のもとに、多文化共生社会のあり方を探るセミナーを開催します。

Seminar 7

誰一人取り残さない

~沖縄の公民館が実践する多文化共生~

沖縄県那覇市にある若狭公民館では、「誰一人取り残さない地域 社会の実現」をテーマとして、地域住民が気軽に集い・学び・つな がっていく場を提供しています。コミュニティの希薄化、子どもの 居場所などの地域社会の抱える課題と、急増した外国人住民を 取り巻く課題に様々なアプローチを行っています。若狭公民館の 取組みから地域で外国人住民とともに暮らしていくヒントを学び、 考える機会とします。

講師

日時

14:00 → 15:30





1月26日®



Seminar 2

今あらためて考える共生のまちづくり ~いちょう団地からの学び~

いちょう団地は、横浜市泉区と大和市にあります。ここでは、 まだ多文化共生の考え方が一般的ではなかった頃から、地域住民 と外国人住民が、食事会やお祭り、スポーツなどを通じて交流し、 顔が見える関係づくりを大切にしてきました。地域社会における 多文化共生の原点を振り返り、これからの多文化共生のあり方に ついて考えてみましょう。

講師

日時

14:00 → 15:30

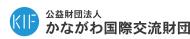




12月17日®







講師 PROFILE

Seminar 7

誰一人取り残さない ~沖縄の公民館が実践する多文化共生~

宮城潤(みやぎじゅん)

那覇市若狭公民館 館長。

1972 年沖縄生まれ(復帰っ子)。2001年 NPO 法人前鳥アートセンター設立に参画、初代理事長。まちの中の アート展『wanakio』などを企画運営。

2006年からは那覇市若狭公民館勤務。現在は指定管理者として館長を務める。

文部科学省 [第70回優良公民館表彰] で最優秀館に選ばれたほか、全国公民館連合会が主催する各コンクール において、最高賞8回を含む13回の上位入賞を果たす。2022年度「国際交流基金地球市民賞」を受賞。 第 10・11 期文部科学省中央教育審議会生涯学習分科会臨時委員(2018~2023 年)。

Seminar 2 今あらためて考える共生のまちづくり ~いちょう団地からの学び~

長谷部 美佳 (はせべみか)

明治学院大学教養教育センター准教授。

東京都立大学社会科学研究科博士課程満期取得退学、社会学博士。長らくいちょう団地周辺で研究活動および 支援活動に従事。研究の中心は、移民とジェンダー、インドシナ難民のライフストーリーの収集、多文化共生に まつわる市民運動について。支援活動としては、20年近く、いちょう団地内で「多文化まちづくり工房」の ボランティアなどを実施。現在は、カンボジア古典舞踊教室のお手伝いが中心。



財団ホームページの申込みフォーム (表面 QR コードから直接申込みフォームに アクセスできます)、または FAX・メールにてお申込みください。

FAX 番号

045-620-0025



申込み用メールアドレス

tabunkares-2025@kifjp.org



お申込みの際には、以下の内容をご記入ください。

メールのタイトルを「多文化共生セミナー申込み」とし、希望のセミナー(「誰一人取り残さない ~沖縄の公民館が実践する多文化共生~」または 「今あらためて考える共生のまちづくり ~いちょう団地からの学び~」)、氏名(ふりがな)、電話番号、メールアドレス、お住まいの自治体 (市区町村のみ)、ご所属(任意)を明記の上、「誰一人取り残さない~沖縄の公民館が実践する多文化共生~」は、2025年11月26日(水)までに、 「今あらためて考える共生のまちづくり ~いちょう団地からの学び~」 は、2025 年 12 月 17 日 (水) までにお申込みください。

— 2025年度 多文化共生セミナー 申込み —	
セミナー	セミナー 1 セミナー 2 セミナー 1 セミナー 2 誰一人取り残さない 今あらためて考える共生のまちづくり ~ 沖縄の公民館が実践する多文化共生~ ~いちょう団地からの学び~
氏 名	(ふりがな) 電話番号
メールアドレス	
お住まいの自治体 (市区町村名のみ)	
ご所属 (任意)	
【問合わせ】公益財団法人 かながわ国際交流財団(原・大塚) TEL:045-620-5045 メール:tabunkares-2025@kifjp.org	